

二つの鉄筋混凝土拱橋

熊本縣土木課

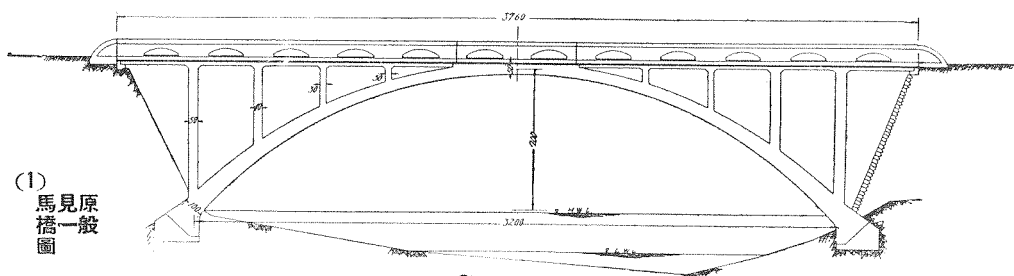
馬見原橋

本橋は熊本宮崎兩縣境に近き阿蘇郡馬見原町を流れる五箇瀬川の清流に架橋せられ、兩岸と河底に強固なる岩盤露出し、谷深く拱橋架設位置として頗る適當なる場所なり。

舊橋は木橋にして、その架橋せられたる時期不明なるも大正14年に修繕したる記録あり、昭和10年6月の洪水により流失したるにより、昭和10年度國庫補助工事として施工せり。工事の概要次の如し。

位置 熊本縣阿蘇郡馬見原町（五箇瀬川）

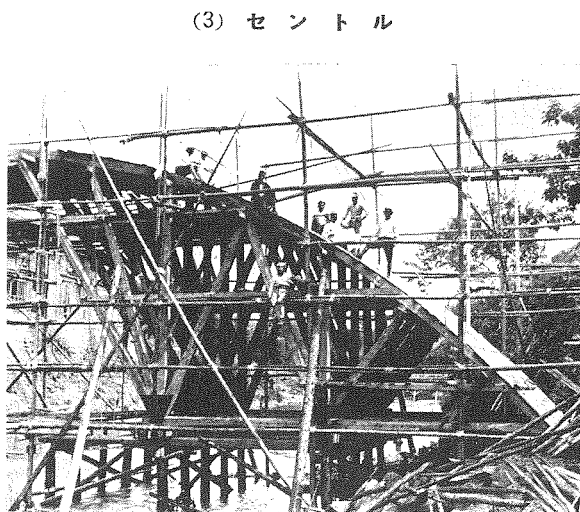
路線名	指定府縣道 熊本宮崎線
橋格	三等橋
橋長	39.6米
有効幅員	5.0米
橋種	鉄筋混凝土無鉸拱橋(連續拱環)
	徑間 32.0米
	拱矢 7.0米
材料	混凝土 205立米 0.96立米/平米
	鉄筋 24.1噸 0.113噸/平米
工期	着手 昭和11年5月
	竣工 同 12年1月
施工請負	



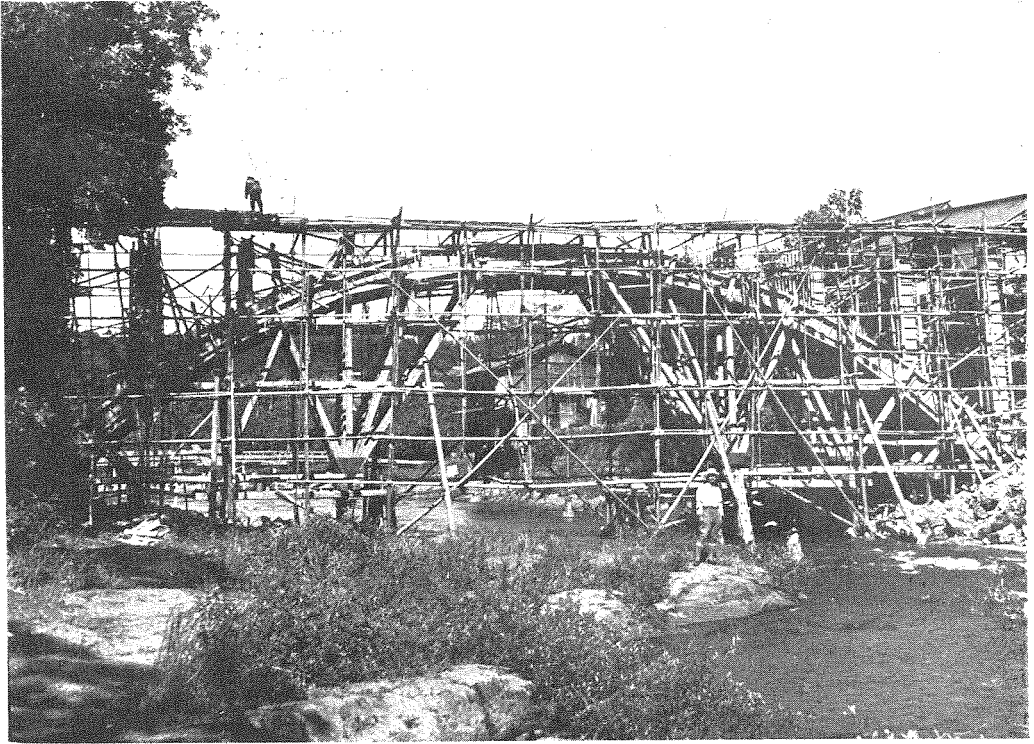
(1) 馬見原橋一般圖



(2) 左岸橋臺の岩盤掘鑿



(3) センترل



(4) 拱環混凝土
打後の状況

(5) 完成せる馬見原橋



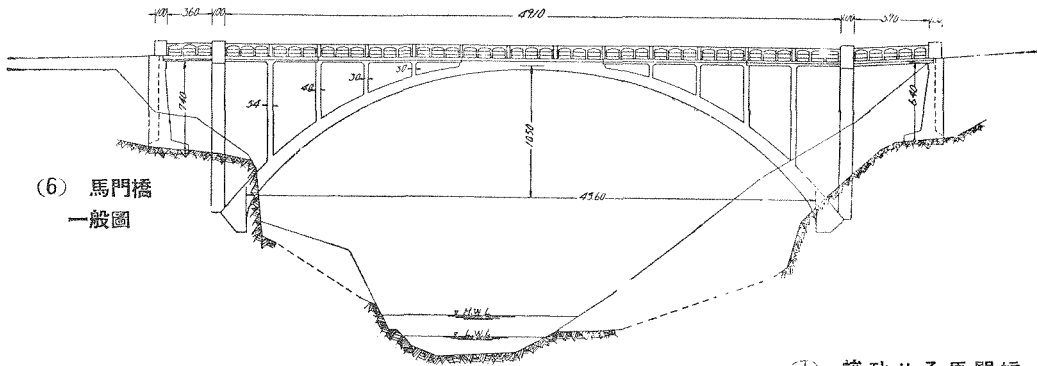
馬 門 橋

本橋は御船川(緑川の支流)の支流津留川の深谷に架橋せられ、附近風景佳良にして、秋の候紅葉を追ふて來る人多し。橋の上流に接し熊延鐵道の鐵橋ありて、車上よりの風光に一段の光彩を添加したるものと信ず。

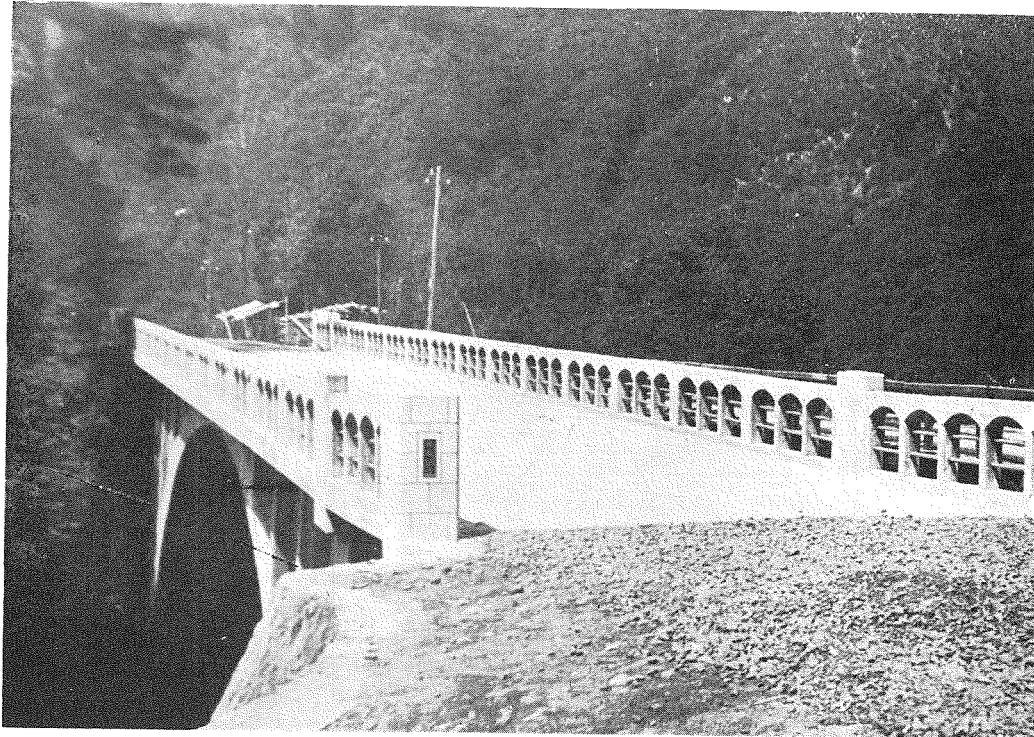
昭和10年6月の災害により舊木橋(下弦橋)は大破損を受け、危険状態となりたるにより

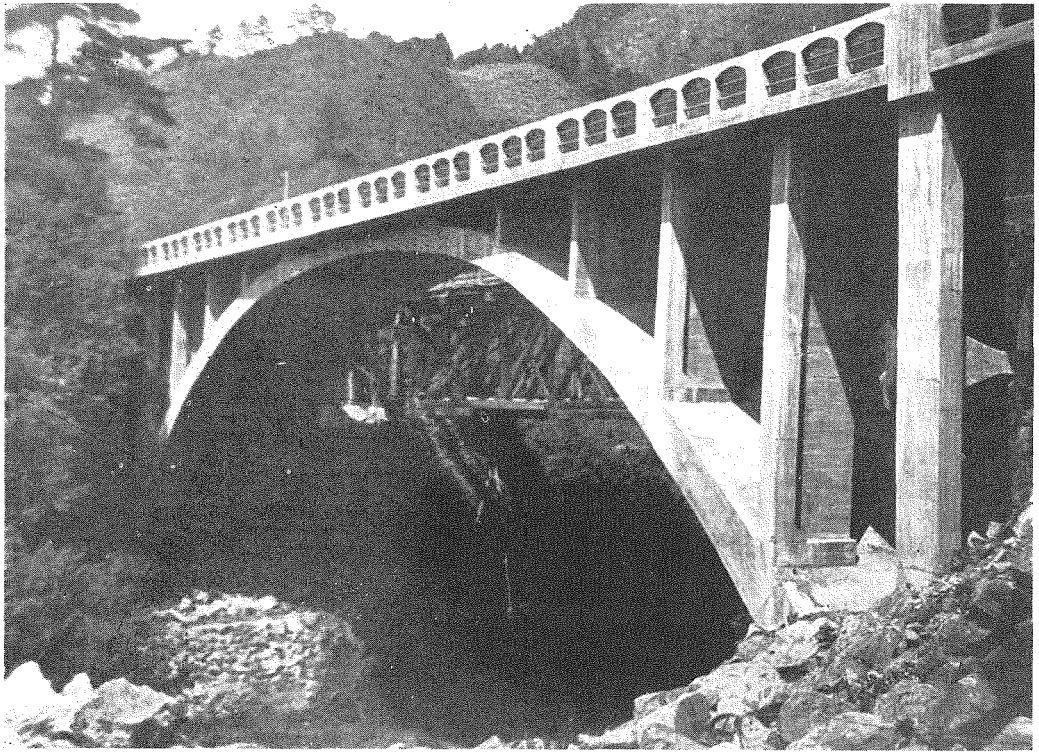
昭和10年度國庫補助工事として施行せり。その概要を示せば次の如し。

位 置	熊本縣下益城郡年禰村字佐俣 (津留川)
路 線 名	府縣道 松橋濱町線
橋 格	三等橋
橋 長	62.6米
有効幅員	6.0米
橋 種	鐵筋混凝土無鉸拱橋(連續拱環)



(7) 竣功せる馬門橋





(8) 竣工せる馬門橋

1連

徑間 45.6米 拱矢 10.5米

施行時は三鉸拱橋となせり、
(第9圖参照)

鐵筋混凝土T型桁橋 2連
徑間 夫々 6.5米 4.1米

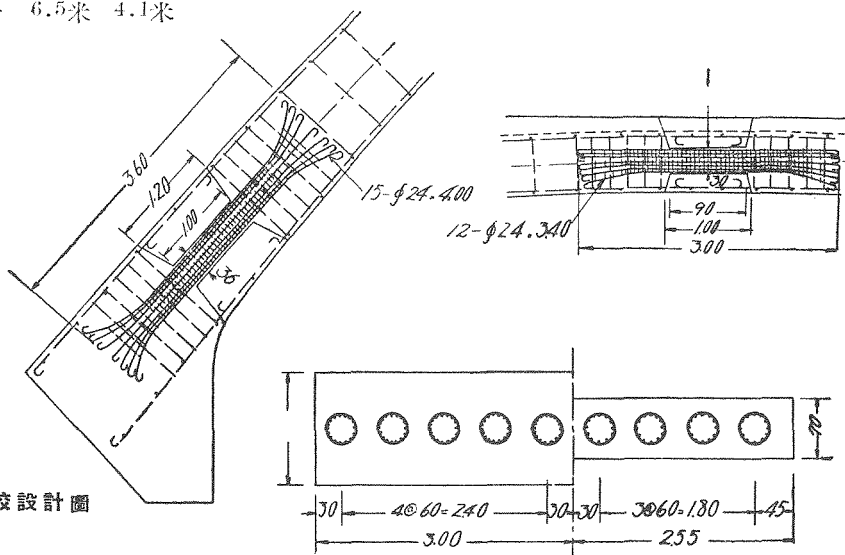
材 料 混凝土 502.7立米 1.34立米/平米

鐵 筋 49.9噸 0.133噸/平米

工 期 着 手 昭和11年5月

竣 工 同 12年2月

施 工 請 負



(9) 施工鉄設計圖